

【お知らせ】R7年1月～6月までの労災について

いつもお仕事おつかれさまです。
本年度より、年に数回労働災害についてお知らせをすることになりました。
今回は、今年の1月から6月までに発生した労災についてお知らせします。
これからも安全に働くために、一人ひとりが気をつけることが大切です。

・ 労災発生件数

今年の1月～6月のあいだに、お仕事中に労災をしてしまったケースが6件ありました。
業種は製造業・物流業の2業種です。

・ 発生原因

ほとんどが「人のうっかりミス（ヒューマンエラー）」によるものでした。
「ちょっとだけなら大丈夫」「このくらいなら大丈夫」「自分は大丈夫」
と思った行動が、大きなケガにつながることもあります。



・ 傷病内容

- ・ 創傷（切り傷）
- ・ 骨折
- ・ 腱鞘炎
- ・ やけど



以上のことを踏まえて、皆さんには3つ注意してほしいことがあります。

①会社のルールを守ること

- 職場にはたくさんの危険があります。
- 職場で決められた作業手順は、安全で効率よく作業するためのルールです。
- 作業手順を守り、自分の命を守りましょう。

- ◆ 定められた**作業手順**（作業標準）をきちんと守る。
- ◆ **安全装置**の必要性を十分理解し、外したり無効にして作業しない。
- ◆ 作業手順書に示されている作業手順を**繰り返し練習**し体得する。
- ◆ 安全上やるべきこと、やってはならないことをよく理解する。
- ◆ 作業手順が**わからない時**は、そのまませず責任者から必ず確認する。
- ◆ **慣れによるケガ**に注意し、軽はずみな動作や強引な動作をしない。



②何かあったらすぐに報告すること

(1) もし「異常事態」が発生したら

- ① 異常事態を発見したら、まず何が起きているかを確認しましょう。
- ② 周りにいる責任者や同僚に大きな声で知らせよう。
- ③ 必要により非常停止ボタンで機械を止めましょう。
- ④ 責任者の指示のもと、同僚と協力して適切な処置を取りましょう。
- ⑤ 一人で勝手な行動はしません。

【知らせよう！】

機械の状態がいつもと違っていたら、リーダーなど、まわりの人にすぐに知らせましょう！



③「〇〇かもしれない」と注意しながら業務に取り組むこと

「かもしれない」意識で作業をしましょう！

人は

- ・ はさまれる
- ・ 巻き込まれる
- ・ 当たる
- ・ ころぶ
- ・ 落ちる
- ・ やけどする
- ・ 感電する
- ・ 腰を痛める
- ・ ガス中毒になる
- ・ 酸欠になる
- ・ 有害物にやられる



かもしれない



モノは

- ・ 動く
- ・ 回る
- ・ 飛ぶ
- ・ 落ちる
- ・ 抜ける
- ・ 燃える
- ・ 倒れる
- ・ くずれる
- ・ 爆発
- ・ 漏れる



かもしれない



労災は、だれにでも起こる可能性があります。

作業前の確認や、あせらず落ち着いた行動が、自分の身を守ることにつながります。

これからも、安全第一でお仕事をお願いします！